

図 書 館 だ よ り

<毛呂山町立図書館> 住所 毛呂山町岩井西4-18-1
 電話 295-1015 / FAX 294-8623
 開館時間 火~金 9:30~19:00 / 土日祝日 9:30~17:30
 <図書館URL> <http://www.library.moroyama.saitama.jp>
 <毛呂山町URL> <http://www.town.moroyama.saitama.jp>



【8月のカレンダー】

■ …休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 山の日	12 振替休館	13 映画会
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27 おはなし会
28	29	30	31 月末休館			

【9月のカレンダー】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10 映画会
11	12	13	14	15	16	17
18	19 敬老の日	20 振替休館	21	22	23 秋分の日	24 おはなし会
25	26	27	28	29	30 月末休館	



特集コーナー 「夏休みお助け本」

宿題はこれで乗り切れ!

自由研究や調べる学習に
役立つ本を集めています!
課題・すいせん図書も
貸出しています☆



今年も開催! 図書館主催の
「本の帯」コピーライター賞と
図書館を使った調べる学習コンクール。
どっちに応募する? どっちも応募しよう!

★図書館催し物のご案内★

大人の映画会

8月13日(土) 10:00~12:10

場所 2階 視聴覚室

定員 先着30名 / 申込み 不要

上映作品 『グリーンブック』

人種差別が色濃く残る時代に、黒人ピアニストと白人運転手の二人が旅を続けるなかで友情を深めていく感動の物語。



子ども映画会

8月13日(土) 14:00~15:40

場所 2階 視聴覚室

定員 先着30名 / 申込み 不要

上映作品 『怪盗グルーの月泥棒』

史上最大級の泥棒を企てるグルーとミニオンたちは“月を盗む”という壮大な計画を立てる。しかし計画に必要な「縮ませ光線」を盗まれてしまい、大あわて！グルーは盗まれた銃を取り戻すために、ある作戦を考えるが…。

「おはなしのクレヨン」おはなし会 ～おはなしにかな どーきどき～

場所 2階 視聴覚室

対象 3才～小学生 大人の方もどうぞ！

内容 おはなし「くさった風」ほか

定員 先着10名(申込みは不要です)

※小さなお子さんは保護者の方と一緒にお願いします。



8月27日(土)
14:00~14:30

※ 新型コロナウイルスの感染状況等により、中止・延期になる場合があります。



2022上半期★ベストリーダー

《2022年1月1日～6月30日までに貸出が多かった本ランキング》



一般書

	タイトル	著者名	出版者	請求記号	貸出数
1	流浪の月	凧良 ゆう／著	東京創元社	913.6 ㊦*	24
2	透明な螺旋	東野 圭吾／著	文藝春秋	913.6 ㊦*	23
3	星を掬う	町田 そのこ／著	中央公論新社	913.6 ㊦*	20
4	女のいない男たち	村上 春樹／著	文藝春秋	913.6 ㊦*	19

☆予約1位は…『塞王の橋』(今村 翔吾／著、集英社、913.6 イマ)でした！

児童書 (絵本以外)

	タイトル	著者名	出版者	請求記号	貸出数
1	おしりたんてい みはらしそうのかいじけん	トルル／さく・え	ポプラ社	K913.6 ㊦*	18
2	おしりたんてい あやうしたんていじむしょ	トルル／さく・え	ポプラ社	K913.6 ㊦*	14
3	おしりたんてい むらさきふじんのあんごうじけん	トルル／さく・え	ポプラ社	K913.6 ㊦*	13

☆予約1位は…『香君 上・下』(上橋 菜穂子／著、文藝春秋、K913.6 ウエ)でした！

この夏、戦争について考える。

本の紹介

第二次世界大戦終戦から77年。戦争を体験した人から直接話を聞くことが難しくなってきた今、「戦争とは何か」という問いへの答えを自分たちでさがしていくことが大切です。ここでは戦争を描いた小説や絵本、ノンフィクションを紹介します。

『晴れたらいいね』

藤岡 陽子／著 光文社 913.67ジ

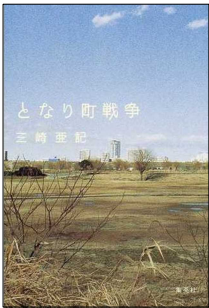
24歳の看護師・紗穂は、病室を廻っている時に激しい揺れを感じ、意識を失った。目が覚めるとそこは71年前、戦時中のマニラ。紗穂は日赤の従軍看護婦、雪野サエになっていた…。目の前の現実を受け入れ、戦場の病院で看護師として働くが、戦況は刻々と悪化していき…。生きることを決してあきらめない女性の姿を描いた異色の戦争小説。



『となり町戦争』

三崎 亜記／著 集英社 913.6ミ

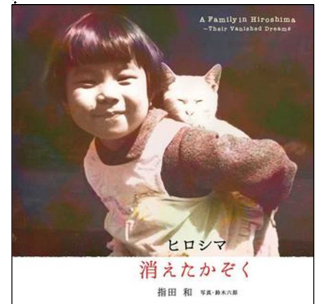
ある日届いた「となり町」との戦争の知らせ。僕は町役場から敵地偵察を任せられた。しかし生活は何の変わりもなく続いていて戦争の気配は感じられず、なんの実感を持ってないまま。それでも戦争は着実に進んでいて…。現代の戦争の不気味な姿を描いた小説。



『ヒロシマ消えたかぞく』

指田 和／著、鈴木 六郎／写真 ポプラ社 Eヒロ

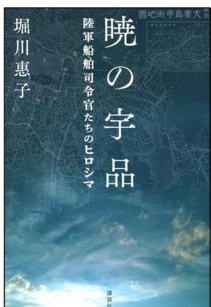
あの日ヒロシマに落とされた原子爆弾が、にぎやかに暮らす鈴木六郎さん一家を消し去った。原爆投下前、戦時中でも、ヒロシマには笑顔あふれる家族の暮らしがありました。カメラが趣味だった六郎さんが撮りためた家族写真から、原爆の残酷さや戦争のむごさを感じてもらいたい。家族で戦争について考えるきっかけになる絵本です。



『暁の宇品 陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』

堀川 恵子／著 講談社 396.7ホ

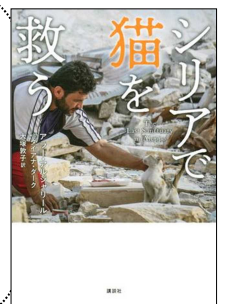
人類初の原子爆弾は、なぜヒロシマに投下されなくてはならなかったのか。日本の「海の戦争」を支えた輸送基地「宇品港」の3人の司令官と、軍都・広島が背負った「宿命」に迫る。日本兵の多くが飢えや病気によって亡くなっている事実の裏側で起きていたことを知ることができます。



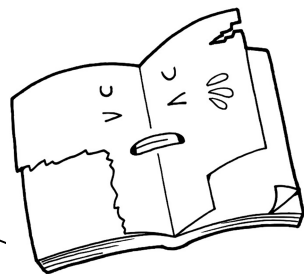
『シリアで猫を救う』

アラー・アルジャリール／著、ダイアナ・ダーク／著、大塚 敦子／訳 講談社 302.2ア

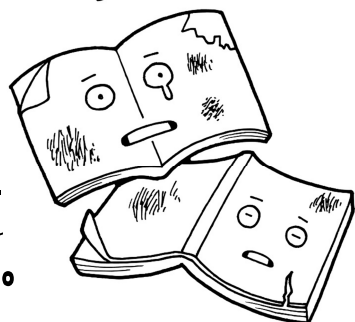
激戦地アレppoで、負傷した人々の救助活動を行いながら、同時に、取り残された猫たちの保護を始めた電気技師アラー・アルジャリール。2011年にはじまり、今世紀最悪の人道危機といわれるシリア内戦。38万人以上が死亡した、その厳しい現実を伝えるノンフィクションです。



本が泣いています…。



本に書き込みをしたり、破れたり、汚れたり、水にぬれたり…。次に使いたい方が借りられなくなってしまい、困っています。図書館の資料は利用者みなさま全員が共有するものです。正しく丁寧に扱ってくださいますよう、お願いします。また万が一汚破損などありましたら、お早めにご相談ください。



みなさまのご協力をよろしくお願いします。



○館長だより○

毛呂山町立図書館長 い が ら し み さ と 五十嵐 京

6月後半の気温は連日35度を超える猛暑日となり、6月27日九州南部が平年と比較し18日も早く梅雨明けしました。同日、東海・関東甲信の梅雨明けは平年と比べて2日も早かったと発表され驚きました。

7月前半は、まるで梅雨に戻ったかと思われましたが、後半は真夏が復活しました。8月は例年より暑くなるとのことです。暑さ対策には十分気をつけましょう。新型コロナウイルスによる感染も過去にない広がりとなっていますので、油断せず感染防止に努めましょう。図書館では、引き続きマスクの着用をお願いいたします。

7月9日映画会を実施しましたが、大人の映画会は途中で映像が止まり残念な結果となりました。原因は、思いもよらないものでした。専門家によると、ごくまれに「Aのプレイヤーでは再生できるがBではできない」という、ディスクとプレイヤーの相性があるとのことです。今回はこの相性がよくなかったようで、参加頂いた方にはご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

次回は、「相性」という知見に対応し実施します。楽しみにご参加ください。

寄贈図書(7月分)

7月の寄贈図書は **343** 冊でした！

寄贈していただいた図書につきましては、当館で選書し、館内用とリサイクル用に分けて利用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

